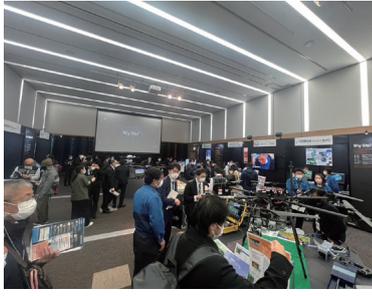


# 九州では「大分県」がドローンで盛り上がりつつある!?

## 福島県と大分県は県を上げてのドローン

ジャパンドローン福岡の会場の一角に、福島県と大分県のコラボレーション展示があった。福島県は国あげて、大分県は県をあげてのドローン事業への投資や助成金などの応援をしている。九州では「大分県」がドローンを牽引しているようだ。



### Why Oita?

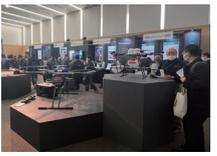
大分県は、県民生活の向上、地域産業の振興、観光の発展を目的として、ドローンを活用した様々な取り組みを行っています。ドローンを活用することで、従来の方法では実現が困難であった業務を、効率的かつ安全に実施することが可能となります。

- 防災・救済** 災害発生時の状況把握、救助物資の運搬、被災地の状況確認
- 農業** 農地のモニタリング、灌漑管理、防除剤散布
- 観光** 観光地の空中撮影、イベントの撮影
- 建設** 建設現場の状況把握、測量、工事の進捗確認
- 環境** 自然環境のモニタリング、森林火災の予防

### Why Fukushima?

福島県は、震災後の復興支援、産業の振興、観光の発展を目的として、ドローンを活用した様々な取り組みを行っています。ドローンを活用することで、従来の方法では実現が困難であった業務を、効率的かつ安全に実施することが可能となります。

- 防災・救済** 災害発生時の状況把握、救助物資の運搬、被災地の状況確認
- 農業** 農地のモニタリング、灌漑管理、防除剤散布
- 観光** 観光地の空中撮影、イベントの撮影
- 建設** 建設現場の状況把握、測量、工事の進捗確認
- 環境** 自然環境のモニタリング、森林火災の予防



福島県と大分県が出会ったのは2年前、幕張で開催されたジャパンドローンだそう。福島県には多様な実証フィールドが整備されており、大分県にはドローンプラットフォームという事業者をとりまとめた、ビジネスマッチングを実装する先行事例があり、お互いの活動をより広域に拡げる為に共同で活動をしている。地域と地元企業が一体となり、他地域を巻き込んでの新たな活動となっている。

# ドローンの市場ではまだまだアイデア一つで可能性を掴める

## ソフトの分野も面白いものが...

飛行計画が簡単にいくつかジャパンドローンで見つけたソフトを紹介しよう。まずは「ドローンフライトプランナー」ドローンの飛行計画の作成を手伝ってくれるアプリ。フライト目的を入力すると天気予報や風向き、風速などの情報が提供され飛行計画の作成時間を大幅に削減してくれる。参考に各々二次元バーコードも付けておく。

ドローン飛行計画自動作成ソフトウェア  
Drone Flight Planner  
ドローン飛行計画の作成時間を大幅短縮！  
もう気象予報を比較する必要はありません。

Drone Flight Plannerの主要機能

- 飛行計画の自動生成
- 飛行計画の表示
- 降雨アラート

## 飛行可能場所を一括管理で観光や産業に役立てる

DUCTというツールは自治体向けドローンの飛行場所管理ツールだ。ドローン飛行可能な場所を、観光や産業に役立てる目的で、自治体や観光協会、各地ドローン協議会に向けて提供している。

ドローン飛行可能場所の見える地方自治体もドローンに繋ぐ

## ドローンサービスのマッチング (大分県)

XROSSというドローンのプラットフォームはまだ大分県だけが、ドローンに関わる色々な事業者をマッチングするサイトだ。現在は全て無料でサービスを発行っており、今後の動向に注目なサイト。前述した県の推進プロジェクトとして実働中プロジェクトとして実働中なので現在は無料で利用ができる。いわば実証実験ということだ。

あなたの地域でドローンサービスのマッチング事業始めませんか?

## 無人航空機の用語に?と困ったら!

こちらも便利なサイト。日本産業用無人航空機工業会が運営している無人航空機用語専用ページだ。よく聞く用語だが、はっきりとした定義がわからない時、調べるサイトだ。

無人航空機の用語について、お困りではありませんか?

## コンファレンスでもレベル4が中心

コンファレンスにも参加した。やはり話の中心はレベル4でのドローンの活用について。レベル4は有人地帯で目視外飛行ができるようになる。機体認証とライセンスが必須条件だ。ドローンXも国家資格となるライセンスを取得するにあたって、実地試験が免除になる登録講習機関になる見込み。来年の春頃にはご案内ができるようになる予定。既に資格をもっている人は追加講習を受講する事で、実地試験が免除になる。

## 次は人が乗るモビリティドローン

展示場のあちらこちらで人が乗るドローンの機体や案内、ポスターなどが目に入る。2030年には...などという話も聞く。次回、幕張の展示会で同時開催されるエアマビリティEXPO。人がドローンで移動する日は近い!?

FUTURE is HERE  
Japan Drone 2023  
第2回 次世代エアマビリティEXPO 2023